



ガンガゼ駆除の様子(玄海)



放流用のアカウニ



耕うん



放流

玄海・有明海の両海域では、近年の異常気象による災害や地球温暖化による海水温上昇の影響などにより水産資源が減少しています。

そこで県では、それぞれの海に環境に応じた漁場環境の改善と資源の添加(放流)に取り組めます。玄海海域では藻場※1の食害生物となるガンガゼ※2を駆除し、磯の生物の生息場所を確保するとともに、資源の回復のためアカウニを放流します。

また、有明海海域では、海底耕うんにより二枚貝の生息環境を改善し、サルボウの

3 佐賀の水産資源の回復を目指します



人が輝く!佐賀が輝く!

佐賀の宝を未来へつなぐ



川床・カヌー体験



1 一気通貫で世界へ佐賀牛を届けます



佐賀牛いろはファーム(唐津市)

KAKEHASHI(多久市)

今年6月、「佐賀牛いろはファーム」(唐津市)と、佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」牛処理施設(多久市)が本格稼働を開始しました。

佐賀牛いろはファームは、佐賀牛のもととなる肥育素牛の生産に加え、農家所有の不妊牛の治療や畜産担い手の育成の機能も備えており、自県産の肥育素牛の生産を拡大する拠点となる全国有数の規模を誇る施設です。

KAKEHASHIは、EUや米国などへの輸出にも対応できる施設で、これまで他県の輸出対応型施設に頼っていたことによる処理頭数の制約がなくなり、輸送量の増加や海外市場の販路拡大が可能となります。

「佐賀生まれ、佐賀育ちの佐賀牛」の生産を拡大し、佐賀の地から直接世界に届け、佐賀牛の振興を図っていきます。

今年6月、「佐賀牛いろはファーム」(唐津市)と、佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」牛処理施設(多久市)が本格稼働を開始しました。

佐賀牛いろはファームは、佐賀牛のもととなる肥育素牛の生産に加え、農家所有の不妊牛の治療や畜産担い手の育成の機能も備えており、自県産の肥育素牛の生産を拡大する拠点となる全国有数の規模を誇る施設です。

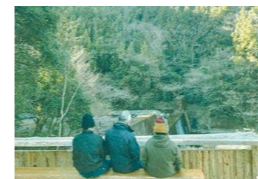
2 川をもっと身近に、川が楽しくKAWARU!



川をもっと身近に、川が楽しくKAWARU



河川環境学習の様子



砂防ダム展望デッキの設置

県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人プロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、県民の皆さんが川に親しむきっかけをつくるため、「KAWARUプロジェクト」を令和元(2019)年度に開始しました。

今年度も、新たに川に親しむイベントや学習会を行う団体への活動支援事業「KAWARUチャレンジ事業」、森・川・海、それぞれで活動する団体同士のネットワーク構築のための交流会を開催します。また、環境学習など啓発活動も予定しています。

川に親しむ活動を通して、県民の皆さんが川の魅力を感じ、学ぶ機会を提供していきます。

県では、森・川・海の豊かな自然環境を守り、未来へ継承するため「森川海人プロジェクト」に取り組んでいます。その一環として、県民の皆さんが川に親しむきっかけをつくるため、「KAWARUプロジェクト」を令和元(2019)年度に開始しました。

お問い合わせ先

- 1【佐賀牛いろはファーム/佐賀県高性能食肉センター「KAKEHASHI」牛処理施設】畜産課 ☎0952-25-7121 ✉chikusan@pref.saga.lg.jp
- 2【KAWARUプロジェクト】河川砂防課 ☎0952-25-7161 ✉kasensabou@pref.saga.lg.jp KAWARUプロジェクトHP URL <https://www.pref.saga.lg.jp/list05210.html>

4 佐賀の森林を「サガンスギ」へ



県林業試験場では、優れたスギの新品種を開発するために、半世紀以上前に全国に先駆けて研究を開始しました。長年の研究の成果が「成長が早い」、「強度が高い」、「花粉が少ない」の三拍子揃った「サガンスギ」が誕生しました。

現在、山に植えられているスギ林を「サガンスギ」の林に植え替えを進めていくために「サガンスギの森林100年構想事業」に取り組んでいきます。「サガンスギ」の普及を推進することで、森林所有者が安心して森林の経営をできる未来を目指します。

※サガンスギの苗木は、法律に基づき、県外への持ち出しを禁止しています。

サガンスギの特長



5 「磨き、稼ぎ、つながる農業」へ



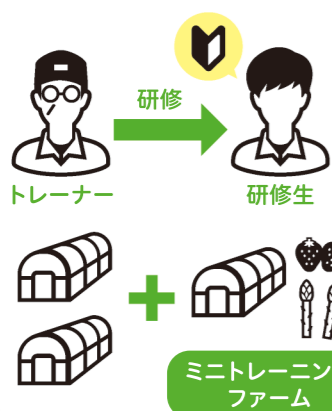
さが園芸888運動

県では、農家の所得向上と産地拡大のため、令和元(2019)年度から、生産者や関係機関・団体と一体となり、「さが園芸888運動」を展開しています。

今年度から就農希望者を各地域で確保・育成する仕組みとして、ミニトレーニングファーム※を推進していくとともに、新規就農者などの受け皿となる園芸団地の整備を進めていきます。

農家が品質向上や規模拡大など経営力を「磨く」ことで所得を「稼ぎ」、それを目指す新たな担い手が確保され、産地が活性化するという、次世代に「つながる」好循環を創出していきます。

※農家自らがトレーナーとなり、就農希望者に対して、生産技術や経営ノウハウを指導するための小規模な研修施設



お問い合わせ先

- 3【佐賀の水産資源の回復促進】水産課 ☎0952-25-7145 ✉suisan@pref.saga.lg.jp
- 4【サガンスギの森林100年構想事業】林業課 ☎0952-25-7131 ✉ringyou@pref.saga.lg.jp
- 5【さが園芸888運動】園芸農産課 ☎0952-25-7114 ✉enginousan@pref.saga.lg.jp さが園芸888運動HP URL <https://saga888.jp/>

